

「地域公共交通の再構築に向けて」

日時：9月27日(火) 16:50-18:35 (5限)

場所：国際学術総合研究棟4階SMBホール
(対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、国土交通省大臣官房公共交通・物流政策審議官 鶴田浩久氏からお話を伺います。

地域公共交通は、全国の社会経済活動に不可欠であり、高齢者など自家用車を運転できない人も増加しています。しかし、地方部を中心として、人口減少や過疎化等により地域公共交通は利用者・担い手ともに減少を続け、存続が深刻に懸念される状況にあります。新型コロナウイルス感染症の影響は、この傾向に拍車をかける形で本質を明らかにしました。このような構造的な課題に対処すべく、国においては、地域公共交通の維持・活性化に取り組む自治体、交通事業者等を応援するため、法律や予算などの整備・拡充を進めてきています。さらに先述の課題認識に照らすと、今後の地域公共交通には、単純な延命ではなく、利便性・持続可能性・生産性が向上するような再構築が求められます。本講義では、地域公共交通の現状と課題を概観した上で、視野を広げるよう意識しつつ、「交通DX」「交通GX」「3つの共創」といった新たな流れを始め、今後の政策の方向性を考察します。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。）。

※資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手して下さい。
授業開始の1時間前までを目途に掲示します。



国土交通省
大臣官房公共交通
物流政策審議官
鶴田 浩久 氏